

## 今年もコミュニティ交流会

昨年から始まった名古屋市のコミュニティ交流会。今年度も名古屋市内各区で開催されました。一部だけですが、お手伝いいたしました。

### ☆コミュニティ交流会とは

コロナ禍で活動が縮小、または止まってしまった地域内の活動を、活発にしたい、そのためには、顔を合わせて対話しましょうという会です。

名古屋市では、区政協力委員という地域の役があります。

「市区政に係る情報を住民に伝達し、住民の市区政に関する意見を反映させるなど、市区及び住民相互間における連携を密にし、もって住民の市区政への関心を深め、市区政への積極的参加を期するため、制度が創設されました。(名古屋市区政協力委員規則第1条第1項 昭和43年6月1日施行)

<https://www.city.nagoya.jp/shisei/category/52-21-0-0-0-0-0-0-0-0.html>

コミュニティの活動は区政協力委員が中心になっています。

### ☆各区の事情に合わせたテーマで

今年度お手伝いしたのが、千種区と緑区でした。

千種区では、地元の事業者とのコラボは可能か？可能だとしたらどのようなことか？のアイデア出しが目的でした。ファシリテーターが期待していた以上に地元の事業者さんは、地域の活動の役に立ちたいと思ってくださっていることが分かりました。そして、アイデアも予想を超えるものがたくさん出ました。立場の違う、多様な人が集まって対話することの大切さを学びました。

緑区では、区内の各学区の区政協力委員が集まり、地域の課題を共有し、解説策を考える、事例を共有するなどをしました。事例を報告してくださった会長さんの考え方が新鮮でした。「やりたい事だけ、やりたい人がやればいい」を貫いて、強制はせずに、とにかく楽しんで地域のことに関わっていらっしやいました。功を奏して、今では活気のある学区になっているとのことでした。

### ☆参加された方々は

ふだんの地域活動について、対話する機会はとても少ないまたは、ほとんどない状態のようで、対話したということでも充実感があつたようです。さらに、「これはできそう！」というアイデアもたくさん出たことで、今後のコミュニティ活動が少しでも前向きになっていけるとファシリテーターとしても望むところです。

\*ファシリテーターとしても学びの多い、コミュニティ交流会でした。事業者の方の想い、具体的なアイデアなどに触れて、今後のコミュニティ活動だけでなく範囲を広げたまちづくりへのヒントにもなりました。

